

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催

ジャン・ジュネのテキストに基づくダンス公演「恋する虜」のための公開セミナー

「裏切りとしての身体—ジュネの言葉とダンスの会う場所」



【日時】

2006年11月5日(日)

1) 15:00~16:30

公開リハーサル「参加アーティストによる、創作過程のプレゼンテーション」

2) 17:00~18:30

フォーラム「ジュネへの応答—〈白〉のイメージからダンスの身体へ」

【会場】

京都芸術劇場 studio21 (京都造形芸術大学内)

【出演】

岩下徹・砂連尾理・白井剛・寺田みさこ・山田せつ子

伊藤高志

杉山至

鷗飼哲

宇野邦一

八角聡仁

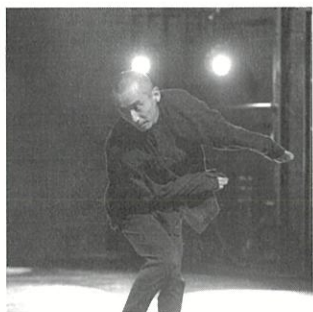
森山直人

舞台芸術研究センターでは、ダンサー・コレオグラファーで主任研究員（本学教授）の山田せつ子を中心に、フランスの作家ジャン・ジュネ（1910-86）の後期作品に基づくダンス公演『恋する虜』に向けて、「創作」と「研究」が緊密に結合した共同プロジェクトを展開しています。単に物語を素材や口実にしてダンス作品をつくるのではなく、ジュネの言葉からどんな身体性や思考の運動を読み取ることができるのか、そしてそれを現在の私たちが置かれている社会的、歴史的、政治的な状況へとどう結びつけていくことができるのかを実践的に模索し、アクチュアルな考察と問いかけを通して、現代におけるダンス表現の根源的な可能性を見出していこうとする試みです。

今回の公開セミナーでは、これまでの研究会やリハーサル成果をふまえ、2008年春に予定している本公演、2007年3月開催のワーク・イン・プログレス公演に先立って、出演予定のダンサー、スタッフによるデモンストレーション、研究者を交えたシンポジウムを行い、ジュネの作品におけるイメージと身体の関係、ジュネが日本の〈舞踏〉に与えた影響とその意味、ジュネとパレスチナとの関わりを通じた「政治と芸術」の問題などについて考察するとともに、観客の皆さんの視線や意見に触れることでこのプロジェクトの意義と方向性を改めて検証します。

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催
ジャン・ジュネのテキストに基づくダンス公演『恋する虜』のための公開セミナー

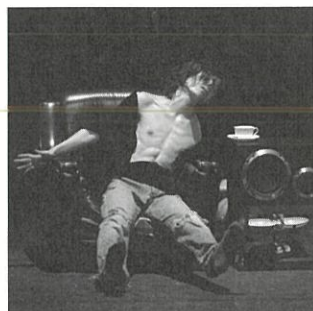
「裏切りとしての身体—ジュネの言葉とダンスの出会い場所」



岩下徹 ©池上直哉



砂連尾理 ©平野愛



白井剛 ©斎藤巧一/TCA



寺田みさこ ©塚田洋一



山田せつ子 ©阿倍綾子

ジャン・ジュネの『恋する虜』も『アルベルト・ジャコメッティのアトリエ』もダンスする身体の知覚を作動させる魅力に満ちている。しかし、その書物はいまだ空中に浮かんだまま私のからだを見下ろしている。言葉が身体に降りてくるのか、身体が言葉を抱きに行くのか。危うく、深い迷路に入りこみそうなジュネの世界を裏返し、折りたたみ、結び合わせる時間が始まったところだ。異なった視点を持ちつつもジュネの振動に共振する人々の新しい地図が書かれはじめている。公開リハーサルを持つことはこの地図の広がり、エニシダ（ジュネ）のように見ていこうということでもある。

山田せつ子

ジャン・ジュネ (Jean GENET 1910.12.19~1986.4.15)

パリで生まれ、7歳で母親に遺棄される。父は不詳。国境を越えて転々と放浪しながら窃盗などの罪を重ね、在監中に詩集『死刑囚』（1942）を出版。以後『花のノートルダム』『薔薇の奇蹟』『葬儀』『泥棒日記』など、犯罪者や同性愛者の立場を公然と引き受けた小説群により、コクトー、サルトルらの称賛を受け作家としての名声を獲得。6年間の沈黙の後、1955年から戯曲『黒んぼたち』『バルコン』『屏風』などを発表し、その後の前衛劇の展開に大きな影響を与える。1968年以降はアメリカ黒人解放闘争、パレスチナ解放闘争などに加担しながら特異な政治的ルポタージュを発表。パレスチナ滞在期の追憶を中心とする長編回想記『恋する虜』が絶筆となった。

- 【日時】2006年11月5日(日) 1) 15:00~16:30
公開リハーサル「参加アーティストによる、創作過程のプレゼンテーション」
2) 17:00~18:30
フォーラム「ジュネへの応答—〈白〉のイメージからダンスの身体へ」

【会場】京都芸術劇場 studio21（京都造形芸術大学内）

【出演】岩下徹・砂連尾理・白井剛・寺田みさこ・山田せつ子（振付家・ダンサー）

伊藤高志（映像作家）／杉山至（舞台美術家）／鶴飼哲（現代フランス文学・思想）／宇野邦一（現代フランス文学・思想）
八角聡仁（批評家）／森山直人（批評家）

【料金】無料 *要事前申し込み/先着順

【定員】100人

【申し込み方法】

お名前・電話番号を明記の上、舞台芸術研究センターまたは京都芸術劇場チケットセンターまで事前にお申し込みください。

<関連企画>

ワークショップ

前日の公開セミナーに参加され、この企画のプロセスに関心を持たれた方を対象に、公開セミナーの舞台空間を生かし、参加アーティストが前日の作業の上に展開する稽古を共有する場を開きます。見るというあり方を出て、ご自分の問題意識を投げ入れてみたいと思われた方の参加を希望します。

【日程】11月6日(月) 16:00~18:00

【会場】京都芸術劇場 studio21

【参加費】無料

【対象】舞台芸術の創作に携わったことのある人

【定員】10名

【お申し込み】お名前・電話番号・舞台経歴・申し込み動機（それぞれ約200文字程度）を明記の上、舞台芸術研究センターまで郵送もしくはFAXにてお申し込み下さい。受講可能者には、11月3日までに連絡します。

【締切】10月27日(金) 必着

【主催/お申し込み/お問合せ】

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
TEL 075-791-9437 FAX 075-791-9438
E-mail info@k-pac.org HP http://www.k-pac.org/

【セミナーお申し込み】

京都芸術劇場チケットセンター（平日10~17時）
TEL 075-791-8240
E-mail ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

